

市議会だより



米沢市指定 天然記念物

上小菅観音堂のケヤキ（H6.3.31指定）

広幡町上小菅観音堂境内に立ち、根周りが約6.7m、幹周り3.5m、高さがおよそ24m。枝張りは東西に22m、南北に29mあります。その根は太く露出し、特に東側に突出した部分は、曲がりくねった盤根状になっています。

推定樹齢300年以上とされ、置賜地区内のケヤキとしては、最も古く、雪国には珍しい逆三角形の樹形や県内に類を見ない根の形状は、盤根ケヤキとして植物学的にも価値ある存在となっています。

平成18年6月定例会

	ページ
6月定例会の総括	2
一般質問	3
予算特別委員会の審査から	9
常任委員会の審査から	10
請願・スポット・あとがき	12

米沢市職員定数条例の一部改正など

28議案 原案どおり可決



平成18年6月定例会は、13日から27日までの15日間の会期で開会しました。

初日の本会議では、まず、全国市議会議長会から、議員在職15年以上として一般表彰を受けた7名の議員の表彰状の伝達が行われました。その後、報告案件7件を了承し、承認案件1件を承認、人権擁護委員候補者の推薦、米沢市公平委員会委員の選任、米沢市固定資産評価審査委員の選任に同意した後、議案17件及び請願6件を各委員会にそれぞれ付託しました。

15日、16日、19日には、11名の議員による一般質問が行われ、20日には総務・民生常任委員会を、また、21日には産業建設・文教常任委員会をそれぞれ開き、議案及び請願について審査を行いました。

22日には、予算特別委員会を開き、補正予算2件について、審査を行いました。

最終日の27日の本会議では、各委員長報告が行われ、議案17件については、すべて原案のとおり可決し、請願6件については、4件が採択、2件が不採択とされました。また、意見書の提出に係る発議3件が可決されました。

最後に、議員派遣について可決して、15日間にわたる6月定例会を閉会しました。

一般質問

6月15日、16日、19日

6月定例会では11名の議員が質問を行いました。ここでは、1時間の持ち時間から主なものを取り上げております。

詳しくは9月に会議録ができますので、情報公開コーナー（4階）、市立図書館、米沢市議会ホームページをご覧ください。

「市政のここが聞きたい」

鷹山公の時代、根っこに民百姓の暮らしがあって、武士の取るべき道に殖産振興があった。同時に人の道を教える興譲館を建学してその支えとしている。明治には、その時に生まれた米沢の振興と、そのための人材育成に山形大学工学部の前身である米沢高等工業学校を誘致し全力を注いできている。そして昭和には、八幡原工業団地に代表されるモノづくりのまちとして発展してきているのが本市だ。このように、政策として、行政や政治が深く関わってきている。

今、産業は、めまぐるしく質の進化を遂げている。本市が、政策としてこれらにどう対応していくかが問われる。

米沢のモノづくりは、質が高い。しかし、モノの持つ機能は、進化しており、コンピュータソフトやチップ等が、心臓部や頭脳になっていることから、ただ手をこまねいては、質の



産業の質の進化に対応する、本市の産業政策は

木村 政信 議員

高い米沢のモノづくりが流出する恐れもある。

過去数年、事業所の撤退や再編と、心臓部や頭脳に係る部門を持たないばかりに、苦しみも味わった本市だ。先に述べた歴史が米沢ビジネスネットワークオフィス等の取組を産み出しているから土台はある。今こそ、行政が、政治が、大胆な政策を打ち出さなければならぬのではないか。

〔市長〕 米沢電気工業会、米沢市電子機器機械工業振興協議会に代表される企業間のネットワークのさらなる強化を図り、今ある取組で他地域との差別化を強め、確固たるモノづくりのまちの原動力として、モノづくりは人づくりを基本とする米沢独自のモノづくり政策を進めていきます。さらには、美しいまち、住むに便利なまちが、産業の育っていく要因として大切だと考えています。



行財政改革と除排雪システムの提案

小島 卓二 議員

行財政改革における職員の意識改革については、仕えて与えられるだけの仕事ではなく、今後は志を持って事に当る、志事を職員にしてほしいと考える。

庶務係は各課に配置され、会計処理などの業務を行っているが、各部ひとつの庶務係とすれば、19係が削減できる。また会計処理を財務会計オンラインシステムに移行し、ペーパーレス化を早急に実施すべきではないか。さらに、課長補佐以上を管理職と位置付け、組織の見直しを図るべきではないか。

〔総務部長〕 組織機構や事務事業の見直しは、迅速かつ柔軟な行政運営を確立する上でも常に検討して行きます。

〔企画調整部長〕 財務会計業務の事務改善と事務効率の向上をどのように図られるか検討して行きます。

国の公共サービス改革法では、市民課窓口を民間に業務委託す

ることが出来るようになってくるが、取り組む考えはあるか。

〔市民環境部長〕 市民課窓口の民間委託等、今後のあり方について検討し、平成20年度までに業務の見直しを行ってまいります。

土木建設の業務量が激減しているが、職員数を削減し、組織を改革できないか。下水道課を水道部に組み入れ、新たに都市整備課と都市施設課の2課とすべきと考えるがどうか。

除雪費用の大半を排雪に充てているが、排雪運搬車両がスムーズに運行できていない。システムを見直すべきではないか。また南部方面に雪捨て場の新設はできないか。

〔建設部長〕 組織改革の御提案は、参考とさせていただきます。県には、雪捨て場のアクセス道路から優先的に排雪をお願いしています。雪捨て場は、南部方面に新設して行く考えです。

本市独自の少子化対策は



佐藤 禎 議員

少子化対策は、国の仕事だと認識ではなく、本市の人口増発展のため独自の政策を立てるべきではないか。

〔市長〕 長期的には本市への人口の引き寄せ、短期的には子育て支援事業の充実を図って行きます。

〔健康福祉部長〕 平成17年度から10年間の次世代育成支援計画を策定しているため、それにより推進を図ります。

本市の四方の山里のうち、北部以外の全ての地域で猿の被害がでている。本市の特産物の館山りんごにも影響が出てきているが、その対策は

〔市長〕 電気柵等での防除方法や、猿に付けられている発信機の電波を受信することにより、群れの動きを察知し、効率的に追い払う方法が最善とされています。国や関係機関に発信器の増設を強く要望いたします。

市民にとって、雪対策は、永遠の課題である。そこで、冬期間融雪のため木場川の水量を増やせないか。

〔建設部長〕 水利権として鬼面川からかんがい期間、非かんがい期間ごとに許可水量分を取水し、木場川に配分しています。

新たに、水利権を取得することは、困難な状況ですが、水窪ダムからの増量については、置賜総合支庁、本市、米沢平野土地改良区等で、流雪溝計画として検討会を立ち上げた経過がありますので、協議をして行きたいと思えます。



成島町地内の木場川

市長の描く米沢市立病院の将来像は



我妻 徳雄 議員

行財政改革の中で、自治体病院についても民間と同様に経済性が求められるようになってきている。その一方で、自治体病院は行政施策の一つとしても位置づけられており、公共性を発揮することも求められている。

この経済性と公共性とはトレードオフの関係にあり、公共性を追求すれば、収支状況は悪化し、一方で、収支状況の改善を追求すれば、公共としての役割を縮小しなければならぬ。市長は米沢市立病院の現状をどのようにとらえ、米沢市立病院の将来像をどのように描いているか。

〔市長〕 市民の生命と健康を守るという市立病院の使命の達成のために、将来とも中核病院として整備して行かなくてはならないものと考えております。

また、建物、設備の老朽化が進んでいることから、地域医療を守るためにはどうしたらよいかについて、運営方法も含めた将来像の早急な検討が必要である

と考えております。今後、第三者機関による診断も検討したいと考えております。

今冬は、雪が休みなく降り続き、高齢者は外に出ることもできない状態だった。高齢者宅を頻りに訪問し声をかけることが高齢者の精神的な支えとなり、雪下ろし作業等での事故防止にもつながる。冬期間、何らかの形で高齢者宅を頻りに訪れ、話し相手や相談相手になる方を配置する必要があるのではないか。

〔健康福祉部長〕 民生委員の方々に、ひとり暮らしの高齢者への訪問をお願いしています。今後、地域包括支援センター業務の一環として、直接の訪問を含め、関係機関、介護保険サービス事業所、地域住民等と連携して、支援ができるよう連絡調整を図るよう努めてまいります。



4月

6日 議会活性化検討委員会
第115回県市議会議長
会定期総会

10日 議会だより編集委員会
産業建設常任委員会
議会だより編集委員会
市政協議会

18日 東近江市議会から視察
20日 第58回東北市議会議長会
定期総会

21日 大磯町議会から視察
24日 各派代表者会
総務常任委員会
民生常任委員会

25日 第69回北海道市議会議長
会定期総会
26日 議会活性化検討委員会
産業建設常任委員会
文教常任委員会

27日 各派代表者会
28日 市政協議会

5月

8日 足利市議会から視察
10日 議会活性化検討委員会
11日 取手市議会から視察
12日 長岡京市議会から視察
15日 各派代表者会
23日 苫小牧市議会から視察

大規模農業経営だけでなく、多様な経営と生産費を補償する農業支援に



白根澤澄子 議員

来年度から始まる品目横断的経営安定対策は、支援の対象を4ヘクタール以上の経営規模を有する認定農業者や、20ヘクタール以上の経営規模を有する集落営農に限定し、大多数の農家を除外するものであり、地域の重要な産業である農業を衰退させることになる。意欲のある農家を対象にし、生産費が補償される支援になるように、国に対し意見を述べていくと共に、米沢の今後の農業のあり方について考えて行くべきではないか。

〔市長〕 従来、生産者、消費者と別れていたものが、垣根を越えてさまざまな交流が行われてきており、新たな切り口から日本の農業が再生されていく可能性も十分にあると考えています。市民農園や田んぼアートなども、その新しい第1歩になるのではないかと考えています。

〔産業部長〕 認定農業者は、6月7日現在で208名です。集落営農組織については、現在2

地区6集落で設立の準備会を立ち上げており、本対策の成否が地域の農業振興を大きく左右することから、設立のための支援をしているところです。

介護保険制度や医療制度の改正により介護施設からの退所者が出ており、今後、療養病床から退院を求められる方もでてくるのではないかと。また、介護する家族の負担も重くなると思われるので、実態を調査し、在宅介護サービスの負担軽減策をとる必要があるのではないかと。

〔健康福祉部長〕 療養病床入院患者数は把握していませんが、市としては、介護福祉施設入所待機者の増加が懸念されると判断し、現在、介護福祉施設の申し込み状況を調査しているところです。

なお、在宅介護サービスの負担を軽減する新たな市単独事業は、現時点では考えておりません。

障害者自立支援法施行に伴う問題点は



我妻 壽光 議員

障害者自立支援法が4月1日から施行され、支援費の1割自己負担と、食費、居住費の全額自己負担を求めるよう変わった。障害者は、自己負担の重圧にあえぎ、福祉の後に苦しんでいる。社会的弱者の救済は、健康な大人の義務でもあり、また、市当局としても、福祉の後に歯止めをかけるべきだ。

〔市長〕 社会的な弱者には、行政が責任をもって、対処していかなければならないと思います。

〔健康福祉部長〕 障害者への支援費の1割負担と食費、居住費の実費負担は、やむを得ないものです。低所得者に対する軽減措置もあるので、相当の配慮はされています。

介護保険法が改正され施設給付の見直しが行われたが、その後の状況は。

〔健康福祉部長〕 所得の低い方については、居住費、食費の負担限度額を定め、過重な負担に

ならないように補足的給付の措置がとられました。施設に聞き取りをしましたが、利用者負担が増加したことにより、退所された方は、ほとんどないようです。

子どもの安全確保と道徳教育の強化の状況は。

〔市長〕 子どもの安全については、回転灯付きの公用車を下校時に合わせて、市内4ブロックに分けて巡回させています。

〔教育指導部長〕 今年度に入って不審者による声かけ事案が6件起こっており、うち小学生に対するものが4件、中学生に対するものが2件となっております。こういった状況を踏まえて、児童生徒の登下校の安全対策、安全指導を強化して進めているところです。

道徳教育については、重要だと考えており、今後ともその推進に力を入れて行きます。

- 24日 第82回全国市議会議長会 定期総会
- 26日 議会活性化検討委員会
- 30日 議会運営委員会 各派代表者会
- 吉良町議会から視察

6月

- 1日 総務常任委員会
- 2日 文教常任委員会
- 5日 産業建設常任委員会
- 6日 議会活性化検討委員会 各派代表者会
- 8日 市政協議会
- 8日 議会運営委員会
- 13日 本会議（招集日）
- 15日 本会議（一般質問）
- 16日 本会議（一般質問）
- 19日 本会議（一般質問）
- 20日 議会活性化検討委員会 総務常任委員会 民生常任委員会
- 21日 産業建設常任委員会 文教常任委員会
- 22日 予算特別委員会 議会運営委員会
- 23日 議会図書室運営委員会
- 27日 議会だより編集委員会 本会議（最終日）



天元台観光、学童保育支援充実、

中学校給食について



吉田 芳一 議員

日本百名山の一つ西吾妻山、名湯白布温泉、冬はスキー、春夏はグラススキー、また多種多様な高山植物を楽しむことができるトレッキング、これらを米沢の大きな観光資源として、今後どういう位置づけをしていくのか。また(株)西吾妻ロープウエーへの補助支援の長期計画を明確にすべきと思うがどうか。

〔産業部長〕 トレッキングを中心としたグリーン期の誘客にも力点を置き、通年型の観光施設として山岳観光の拠点になるよう努めています。ソフト面での具体的振興策は、今年度策定する観光振興計画で具現化したいと考えています。利用者に対して安心安全の確保に努める義務があることから、索道施設の根幹的なところは、市が整備を行います。

学童保育に対するその認識と重要性は、国の「放課後子どもプラン」政策にも現れている。

本市における学童支援は、年々改善されているとはいえ、他市に比べ施設借上料の補助額が低く、利用児童数の規模別により委託料の格差がある。これらの改善をどう進めるのか。

〔健康福祉部長〕 施設借上料は、平成17年に改正しましたが、他市に比べまだまだ低いので、今後の研究課題としてまいりませう。また、委託料の算定基準であった児童数の算定方法が改正されたことで、段階的補助金の差は緩和されており、ご理解いただきたい。

学校給食検討委員会のメンバーは、官より民を重点に構成すべきである。また、今後のスケジュールはどうか。

〔教育指導部長〕 検討委員会は平成18年8月ごろに立ち上げ、2年間にわたって検討してまいります。メンバーは、公募市民、学識経験者、保護者代表、学校の代表を予定しています。

米沢市の「まちづくり」の

体制をどうつくるのか



佐藤伊左門 議員

米沢市の「まちづくり総合計画」10か年計画が4月からスタートしている。しかし、残念ながら分権自治、地方の時代に入ってもなかなか思うように「まちづくり」が進んでいない。旧態依然とした古い体質の殻を破って、新しい市役所になっていく、また、市民と協働しあつて良いまちを作るという方向が、目指されていない。

そこで、市役所を横断する若手、中堅職員によるプロジェクトチームを立ち上げて、調査、研究をし、また、各部にもワークショップのようなグループを作り、それらグループ同士の連携を通じ、互いに研さんし、実践していくことが大事であると考えている。同時に、市民の中にも同じようなグループを作り、職員と自由に議論しあうところから始めていくべきではないか。そして、多くの先進地の取り組みや経験を学ぶことが重要である。これらの取り組みが広

がって行くことにより、各地区単位にも「まちづくり委員会」のような組織がつけられて、コミュニティ自治が展開されることになれば、市民と市役所による本物のまちづくりができるようになると思うがどうか。

〔市長〕 市役所内にいるいるなプロジェクトチームを作つてみたいと考えています。また、まちづくり総合計画の実施段階においても、市民の方から意見をお聞きし、10か年計画でどのような目標を設定し、どんな施策を進めるかのプラン作りや、その進捗状況を確認していただくための市民委員会の設置などについて準備しております。コミュニティ自治についても、極めて大事だと思っております。小さな自治が行われて、それが基礎自治体を形成していくものであり、今後十分に検討したいと思えます。

市議会のホームページ

会議録、市議会の概要、市議会だよりなどを紹介しています。

アドレスは次のとおりですのでぜひご覧ください。

アドレス

<http://www.city.yonezawa.yamagata.jp/gikai/gikaihome.html>

くわしくは議会事務局へお問い合わせください。

22-5111(5623・5624)

市議会の番組放映について

市議会本会議の様子は、NCV(22チャンネル)にて放映しておりますので、ご都合のつく方は、ご覧ください。

施設整備の施策について



山村 明 議員

本市は、財政の硬直化、縮小化が進んでおり、効率的で、費用負担の少ない公共事業を実施しなければならぬ。施設整備や用地で、周辺市町や置賜広域行政事務組合（以下、置広と表記）との連携を進められないか。他市町、置広や民間と借地契約をしての事業はできないのか。

〔市長〕 周辺自治体や、置広との連携は、十分に考えて行きたい。民間との連携も、探ってきた。様々な可能性・選択肢を調べていくことが大事だと思います。

〔企画調整部長〕 千代田クリンセンター隣接の余熱利用施設は、現在再度計画の策定を行っており。用地は取得して施設整備をするのが原則的な考え方と認識していますが、限りある財源で多くの市民要望やまちづくりを進めて行く必要がある。一定期間安定して施設運営できる条件が確保できれば、今後検討してまいりたい。

本市で、陸上競技場の建設が検討されているが、高畠町にも陸上競技場建設の話があるようだ。互いに隣接する近さで建設を計画すれば、大きな大会を誘致できるが、離れて作るのなら、公認の陸上競技場は東置賜地区に1か所足りるので、近隣自治体との連携や調整をすべきではないか。

〔市長〕 高畠町の新町長とは、何度かお会いしていますが、就任されてまだ日が浅いので陸上競技場に関する話などは、もう少し時間を置いた方が良く考えています。

市民からの要望・陳情で行政として実現不可能なものは、早い段階で断るべきで、費用対効果の意識を啓蒙するべきではないか。

〔市長〕 その通りでありますので、十分に意見として承りたいと思います。

市立東部ひかり保育園の建て替えと その後の運営について



高橋 壽 議員

平成18年3月定例会で、当局は「市立東部ひかり保育園の建て替えと、その後の運営は民営に切り替える。」と答弁した。しかし、平成16年に策定した「米沢市児童保育計画」の方針では、そのようにはなっていない。どこで方針を変更したのか。

〔市長〕 東部ひかり保育園は、老朽化等の理由から建て替えを検討してきましたが、多様化する保育メニューへの柔軟な対応、本市の財政状況等から、平成18年3月の「行財政改革大綱集中プラン」において、「民営化」の方針を打ち出したものです。

「米沢市児童保育計画」は、将来の本市の保育のあり方を市も参加し、保育関係者の話し合いで決めたもので、東部ひかり保育園の建て替えと、その後の運営について「民設民営」とは決めている。少なくとも「公設民営」の方針だったはずであ

る。それを当局内部の議論で、勝手に方針を変えるのは問題ではないか。

〔健康福祉部長〕 建て替えが急務であり、建設費等の補助金関係もあつて、公設民営よりは、民設民営の方が有利ではないかということ、民設民営という考えが出てきたものです。

〔市長〕 民営化につきましては、拙速を避けて保護者等の皆様の意見を十分に聞きながら慎重に進めて行きたいと考えています。



東部ひかり保育園

表彰

全国市議会議長会から、次の方々が表彰されました。

一般表彰状

（議員在職15年以上）

- 齋藤 春美 議員
- 高橋 壽 議員
- 佐藤 伊左工門 議員
- 遠藤 宏三 議員
- 木村 勇一 議員
- 五十嵐 謙一 議員
- 山田 登 議員



六中跡地利用は



佐藤 忠次 議員

市立第六中学校の跡地利用は、

〔総務部長〕 六中跡地は、市としての具体的利用目的がないことから、行財政改革大綱集中プランに基づいて売り払い処分し、自主財源の確保と維持管理費の節減を図ることを考えています。処分には、一定の手続きに時間がかかるので、それまでは、地域団体などの一時的利用を考慮します。

都市計画の見直しは、いつごろの予定か。また、都市計画審議会の開催予定は。

〔建設部長〕 現時点で、都市計画の見直しは、考えていません。従って、都市計画審議会の開催も予定していません。

コンパクトシティ（ ）として、今の都市計画の範囲内のみにとどまってよいのか。

〔市長〕 市街地空洞化は全国で大変な問題になっており、コンパクトシティを目指す方向に流

れています。米沢もそういう流れにあります。わずか30年から40年の間に、市街地が広がり、中心部が空洞化したことから考えると、長期的展望に立ち、深く掘り下げたまちづくりは、極めて大事で、焼畑農業のように、いたずらに市街地を広げ、荒地だけが残るようではいけないと思います。

市立成島児童遊園内で開設している「成島ふれあい動物園」を常設にする考えはあるのか。

〔市長〕 維持管理経費などを考え、業者に委託して週末等に開設するイベント型としたものです。当面は、この形態の中で、感染症予防などの安全管理に努めて行きたいと考えており、常設型施設については、今後の検討課題とします。

（ ）市街地の過度の拡大を抑制し、中心部に人が住みやすくするよう整備やまちづくり。

6月定例会で次のことが決まりました

平成17年度米沢市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
平成17年度米沢市下水道事業費特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について
平成17年度米沢市水道事業会計予算繰越計算書の報告について
平成17年度米沢市立病院事業会計予算繰越計算書の報告について
米沢市土地開発公社の平成17年度経営状況及び平成18年度事業計画の報告について
財団法人米沢上杉文化振興財団の平成17年度経営状況及び平成18年度事業計画の報告について
専決処分事件の報告について
専決処分事件の承認を求めるとして
人権擁護委員候補者の推薦について
米沢市公平委員会委員の選任につき、その同意を求めるについて

米沢市固定資産評価審査委員会委員の選任につき、その同意を求めるについて
米沢市職員定数条例の一部改正について
米沢市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について
米沢市市税条例の一部改正について
置賜広域行政事務組合規約の一部変更について
市有財産（救助工作車）の取得について
米沢市住居表示審議会条例の一部改正について
米沢市国民健康保険条例の一部改正について
米沢市国民健康保険条例の一部改正について
米沢市自転車等放置防止条例の一部改正について
売買代金返還請求調停事件の調停に応ずるについて
米沢浄水管理センター中央監視制御設備等改築工事の委託に関する協定の締結について
米沢浄水管理センター汚泥脱水設備増設工事の委託に関する協定の締結について

米沢市下水道事業運営審議会設置条例の設定について
市道路線の認定について
平成18年度米沢市一般会計補正予算（第1号）
平成18年度米沢市老人保健医療費特別会計補正予算（第1号）

以上の議案は、すべて、承認、同意、認定、原案どおり議決しました。



予算特別 委員会

6月22日に開かれた予算特別委員会で、一般会計補正予算をはじめ2議案を審査しました。

その中から質疑の主なものをお知らせします。

〔委員〕 金池第二土地区画整理事業保留地処分に伴い、今回発生した買戻し土地をどのように活用するのか。また、公園にするなどの考えはないのか。

〔総務部長〕 現段階では、公園などの行政財産としての位置づけは考えておりません。売却する方向で検討し、購入希望者がおられた場合には協議しながら対応して行きたいと考えています。

〔委員〕 横浜市が進める保育園の民営化に対し、違法という横浜地裁の判決が出された。行政が性急にコストダウンを迫るあまりにこういう判決が起きていると感じる。東部ひかり保育園については、保護者や住民に対し公的な保育園が果たす役割と使命、なぜ民営化にするのかを説明しているのか。現在、市立保育園は三施設あるが、公的な部分も残して行かなければならないという意思があるのかどうかを伺いたい。

〔市長〕 公立保育園の存在意義は十分認識しているところです。平成17年、行財政改革の提案をしたところ市職員保育園勤務者からも、公立保育園が大事であるとの意見がたくさん出てきました。そういうことを踏まえて、公立保育施設としての機能、役

割は大切であると思います。一方では民間保育施設も存在しており、その意義も大切であると思います。現在、市立保育園三施設のうちの一施設が民営ということで進んでいるものであります。今後保護者及び住民と十分に話を進めて行きたいと思っております。

〔委員〕 耐震調査の結果による危険度や、建物の構造や耐用年数などの整合性をとり、教育委員会として学校改革に係る指針を策定すべきと思うがどう考えるか。

〔教育管理部長〕 文部科学省からの指導などもございますので、より適切な方法を教育委員会会議のなかで検討し、学校整備については、今後計画的に具体化して行きたいと考えております。



第四中学校

下校時における 児童生徒の見守り体制は

〔委員〕 子ども達が川のそばで遊んでいて、危険だと感じた大人が声をかけたところ、子ども達に不審者として判断された。地区では警察や見回り隊が出て一騒ぎとなり、一斉下校となったことがあった。いま、大人が不審者として扱われるのではないかとということで、声をかけられない状況になっている。そのような状況下においてどのように考え、子ども達に対して教育していくのかについて伺いたい。

〔教育指導部長〕 声がけをした方が不審者であるのか、ないのかは難しいところですが、それでも、各学校で見守り隊のボランティアを立ち上げて様々関わっていたいただいておりますが、顔を覚えてもらうなど子どもとの信頼関係をつくるなかでの指導、又は、対処しきれないのかなと考えているところです。

ていると思うが、現在未整備区間になっている桑山地区から金谷地内の河川改修について今後どう整備して行くのか。

〔建設部長〕 大門川の下流域の未整備区間については何らかの方法をとらなければならないと認識しておりますが、現在検討中であり、明確な事業予定はないところであります。

〔委員〕 学園都市を標榜する本市としては、山形大学工学部と米沢女子短期大学の入学式や卒業式に、市長が出席すべきではないのか。

〔市長〕 今後、式典の中でいさつするなど、米沢は学生の皆さんを大事にしているということを首長自ら伝えて行くことはして行かなければならないと思っております。

〔委員〕 国道13号拡幅事業及び東北中央自動車道の整備計画の実施によって雨水による路面排水の増量と考えられる。最終的に大門川に流れ込む設計になっ



常任委員会の審査から

6月20・21日に開かれた常任委員会から、質疑の主なものをお知らせします。

の設備の充実化が図られ、また、リモコンによる遠隔操作も可能になったこと等が更新による改善点であります。

総務

米沢市職員定数条例の一部改正について

本案は、本市の職員の定数を現在の1299人から1197人に変更しようとするものです。

〔委員〕 今回提案された職員の定数1197人の根拠は。

〔総務課長〕 現段階で職員が行うべきとされている業務に必要な人数に、職員が行うべきか否か検討中である業務に必要な人数を加算して設定しております。

〔委員〕 本市における職員数削減の取り組みは。

〔総務課長〕 平成22年4月1日までに、市立病院を除き平成17年4月1日と比較して55名以上削減する考えであり、それ以降についてもさらなる職員数削減を進めてまいります。

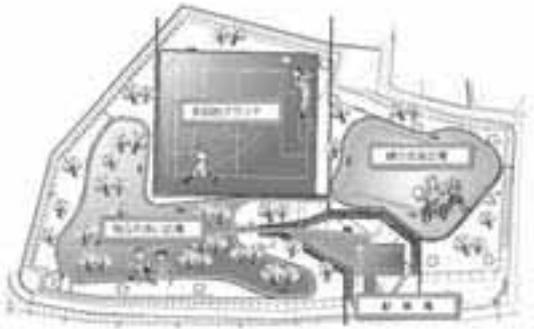
置賜広域行政事務組合規約の一部変更について

本案は、平成18年10月に供用開始を予定している浅川最終処分場跡地利用公園に関する事務

を置賜広域行政事務組合が行う共同処理事務とするために同組合の規約の一部を変更することについて協議を行うため地方自治法第290条の規定により提案されたものです。

〔委員〕 当該施設の使用料はいくらか。

〔総合政策課長〕 無料の施設として考えております。



浅川ふれあい公園イメージ図

市有財産（救助工作車）の取得について

本案は、現在、配備されている救助工作車1台が老朽化したことから、これを更新配備することにより、災害に適切に対処し、市民生活の安全を確保しようとするものです。

〔委員〕 置賜圏域における救助工作車の台数と稼働実績は。

〔消防次長〕 救助工作車は東南置賜二市二町の各消防本部にそれぞれ1台ずつ、西置賜消防本部に1台、計5台が配備されており、本市における出勤回数は、年間100件前後であります。

なお、大規模災害の発生時には、山形県広域市町村間の応援協定により、出勤要請があれば県内15の消防本部が管轄する市町村に出勤することもあります。

〔委員〕 人命救助を必要とする場合は、救助工作車に救急救命士が同乗し連携した救助活動がなされるのか。

〔消防次長〕 人命救助を伴う救助活動では、先に救助工作車が要救助者を確保し、その後、高



現在の救助工作車

規格救急車等で出勤した救急隊員に引き継ぎ救命行為を行うシステムであります。

〔委員〕 救助工作車の更新にあたり改善された点は。

〔消防次長〕 馬力が増加したことで、救助資機材が小型化され軽量化したことにより、より多くの器材が積載可能となったこと、艤装については前後にウィンチ装備、発電装置、照明装置、クレーン装置、油圧発生装置等

民生

米沢市住居表示審議会条例の一部改正について

本案は、市長の附属機関である住居表示審議会の委員の構成から、1号委員である市議会議員を削除しようとするものであります。

〔委員〕 本条例の施行日について。

〔市民課長〕 現在の1号委員の任期が平成18年7月25日であることから、残任期間終了後に施行し、新たな委員で審議会を構成します。

〔委員〕 この審議会で審議する新たな住居表示実施予定区域はあるのか。

〔市民課長〕 8月以降に審議会を開催し、区域と方法等について検討してまいります。

米沢市国民健康保険条例の一部改正について

本案は、診療報酬の改定に伴い、所要の改正をしようとする

ものであります。

〔委員〕 歯科訪問診療の項目が条例に新たに加わった理由は、

〔国保年金課長〕 現在の条例では、歯科の訪問診療が不明確であったため、このたびの改正にあわせ歯科の訪問診療部分を明文化したものであり、診療報酬の点数については、従来どおり変更がありません。

米沢市自転車等放置防止条例の一部改正について

本案は、市長の附属機関である自転車等駐車対策協議会の委員の構成を一部変更しようとするものであります。

〔委員〕 放置禁止区域を指定しようとするときは、あらかじめ米沢市自転車等駐車対策協議会の意見を聴かなければならないとあるが、新たな禁止区域の指定または変更がない場合、協議会の設置はするのか。

〔環境生活課長〕 必要がある都度委員を委嘱して、協議会を開催してまいります。

〔委員〕 放置自転車の撤去方法について。

〔環境生活課長〕 放置自転車を発見した場合は、当該自転車に警告書を貼り、一定時間経過をしても移動されない場合には、撤去し保管します。

産業建設

売買代金返還請求調停事件の調停に応ずるについて

本案は、金池第二土地区画整理事業保留地処分に伴い、発生した売買代金返還請求調停事件について、米沢市春日四丁目2番35号の土地1678・01平方メートルのうち、560平方メートルの土地を不動産鑑定評価額2116万8千円で、申立人から買い受けることなどを内容とした調停を成立させようとするものであります。

〔委員〕 公用地の売買の際における不測の事態や事故等に対し、今後はどのように対処するのか。

〔建設部長〕 今事例は、売主である市が売却しようとする土地



市が買い受ける土地

に屋敷墓地が存在した事実を買い手に告知しなかったために生じたものですが、今後、市有地を売却する際には、その土地について、過去の事実関係を含め十分に調査し、適切な対応を講じた上で売却して行きます。

米沢浄水管理センター中央監視制御設備等改築工事の委託に関する協定の締結について

本案は、昭和61年に供用を開始している米沢浄水管理センターの設備のうち、中央監視制御設備等が、その耐用年数を越えたことからこれを改築するため、日本下水道事業団に委託し、委託に係る協定金額5億7410万円で協定を締結しようとするものであります。

〔委員〕 今回の工事にあたり地元の建設業界に対し、下請け等の発注はできないか。

〔下水道課長〕 今回の中央監視制御設備等改築工事は専門的かつ特殊性を持つ工事のために、地元の電気または機械等の設備業者では対応が難しいと思われるます。

〔委員〕 契約相手として日本下水道事業団を指名した理由は、

〔下水道課長〕 下水道

法では、資格を有するものに終末処理場の建設工事の管理監督を行わせることになっていますが、本市には該当する職員はおりません。

日本下水道事業団は、このように管理監督の資格を有する下水道技術者が不足している小規模な地方公共団体の要請に基づき発足した団体であり、この団体に委託することで円滑で効率的な事業の進捗を図ることができると考えています。

〔委員〕 改築工事をするにことよって機能や性能にどのような改善がなされるか。

〔下水道課長〕 市内6箇所設置されているマンホールポンプにおいて、従前は、故障した場合、電話連絡により故障の程度を通知するほかありませんでしたが、設備を更新することにより、故障の状況を常に監視することが可能となります。

市議会9月定例会日程(予定)のお知らせ

- 9月6日 開会(本会議)
- 8日 一般質問
- 11日 一般質問
- 12日 一般質問
- 13日 決算特別委員会
- 14日 決算特別委員会
- 15日 決算特別委員会
- 19日 決算特別委員会
- 20日 常任委員会
- 21日 常任委員会
- 22日 予算特別委員会
- 27日 最終日(本会議)

なお、請願の提出期限は8月30日(水)午後5時の予定です。日程は変更されることがありますので、ご了承ください。

議会を傍聴してみませんか

本会議、委員会ともに、受付で住所、氏名などを記入するだけで、どなたでも傍聴できます。お気軽にお越しください。次回の9月定例会の予定は左のとおりです。

本会議場の傍聴席に向かう階段に手すりを増設しました。今後も、利用しやすいように改善しようと考えております。



6月定例会で審議した請願の結果は次のとおりです。

採 択

高金利引き下げ等を求める意見書提出方請願

(山形県東根市中央2丁目12番35号 山形県青年司法書士協議会 会長 菅原 孝博)

消費者金融等の金利引き下げを求める意見書提出方請願

(米沢市金池2-2-14 東北労働金庫米沢支店内 米沢地区労働者福祉協議会 会長 井上 正則)

産業廃棄物最終処分場の新設に関する意見書提出方請願

(米沢市小野川町2501-1 小野川温泉観光協議会 会長 佐藤 秀次)

日本と同等の安全対策のないアメリカ産牛肉の輸入再開は慎重に行うことを求める意見書提出方請願

(南陽市漆山1068置賜農民連会長 平田 啓一)

不 採 択

憲法9条を変えることに反対する意見書提出方請願

(米沢市門東町3-3-12 憲法9条を護る米沢市民の会代表 九里 廣志 外5名)

教育基本法「改正」案に関わる意見書提出方請願

(山形市木の実町12-37 山形県教職員共同闘争連絡会代表委員 五十嵐 晋)

意見書

出資法の上限金利の引き下げ等を求める意見書

(衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣、金融担当大臣あて)

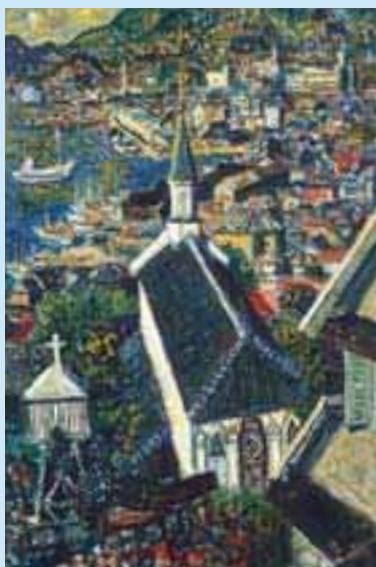
産業廃棄物最終処分場の新設に関する意見書

(山形県知事あて)

日本と同等の安全対策が実施されない限りアメリカ産牛肉の輸入再開は慎重に行うことを求める意見書

(内閣総理大臣、農林水産大臣、厚生労働大臣あて)

6月定例会最終日に議員提出の意見書3件を原案どおり議決し、直ちに関係機関へ送付しました。



椿 貞雄「大浦天主堂」米沢市所蔵

プチ・アート・アSEMBリ

議会の小さな美術館

スポット

議会棟の委員会室前に「プチアートアSEMBリ」と題し、本市所有の美術作品を展示しておりますが、5月31日に絵画作品の展示替えをし、「米沢ゆかりの油彩画」として、新しく次の作品が展示されました。

椿 貞雄「大浦天主堂」
土田 文雄「黄衣」
土田 次枝「秋の田園風景」
黒澤 悟郎「パリサンレミー教会」

また、引き続き展示しているブロンズ作品は次の通りです。

桜井 祐一「沈む地球」
「海浜の詩」
「ネグリジエの女」

どなたでも、ご覧いただけますので、市役所にお越しの際は、議会棟にもお立ち寄りください。

あ
と
が
き

過日、伝国の杜置賜文化ホール」で、観光・温泉フォーラム 温泉を通じた健康づくりと地域の活性化 が開催され、数名の議員を含め450名の市民各位が参加しておられた。北海道大学名誉教授 阿岸祐幸氏が「温泉と森を生かした健康づくり・まちづくり」と題し、基調講演を行い、パネリストとして登壇し、いくつか貴重な提言をなされた。なかでも特筆すべきことは、市内小野川温泉の源泉に対する高評価で、全国でもトップクラスで米沢の「宝物」であるというのだ。

自治体が中心になって利用についてのメニューを作る必要性を力説しておられた。

さて、今日8月1日は、「水の日」。自然界と共生し、ゆっくりと生きていきたいものです。

(H・K)

